

26.7.20 宮田

川釣り楽しい

日南・酒谷小
児童が体験

子どもたちに川に親しんで
もらおうと、日南広渡川漁協
（戸田博組合長）は18日、日南
市の酒谷キャンプ場の酒谷川
で釣り教室を開いた。酒谷小
の全校児童24人が参加。タカ
ハヤやカワムツを釣り上げ、
大きな歓声を上げていた。
同漁協は同市を流れる広渡



川に浸りながら釣りを楽しむ児童ら

川と酒谷川を管轄。川辺の環境が悪化する中、自然にやさしい川づくりを学んでもらおうと毎年開催している。

戸田組合長は「最近では釣りの経験のない子どもも多く、ミミズに触れない子もいる。川にどんな生き物がいるのかを学び、自然と存分に触れ合って」とあいさつ。

ウナギを捕る「ぼっぶ」やエビ籠、箱メガネ、投げ網などを紹介し、近くで捕った手長エビやモクスガニ、カメなどを見せて、自然の豊かさを訴えた。児童らはミミズやうどん、ソーセイジを餌に、竹ざおで釣りを開始。漁協関係者らの指導を受けながら次々と魚を釣り上げ、記念写真を撮影した。餌を針に付けるのに苦労する児童や、川に入っていく児童もいた。

体長7センチほどのタカハヤを釣った中村健志君（6）は「ミミズが怖かったけど、初めての釣りで魚が掛かったのうれしいかった」と笑顔だった。